

# 高知県教育委員会 会議録

平成26年度第13回教育委員協議会

場所：高知会館 3階「飛鳥」

## (1) 開会及び閉会に関する事項

開会 平成26年9月8日(月) 18:30

閉会 平成26年9月8日(月) 20:05

## (2) 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員	教育委員長	小島 一久
	委員	竹島 晶代
	委員	八田 章光
	委員(教育長)	田村 壮児
欠席委員	委員	久松 朋水
	委員	中橋 紅美

## (3) 高知県教育委員会会議規則第9条の規定によって出席した者の氏名

高知県教育委員会事務局	教育次長(総括)	勝賀瀬 淳
〃	教育次長	中山 雅需
〃	教育次長	永野 隆史
〃	参事兼教職員・福利課長	彼末 一明
〃	教育政策課長	有澤 功
〃	高等学校課課長	藤中 雄輔
〃	高等学校課企画監	坂本 寿一
〃	高等学校課課長補佐	高野 和幸
〃	高等学校課課長補佐	竹崎 実
〃	教育政策課チーフ	溝渕 松男(会議録作成)
〃	教育政策課主任指導主事	葛原 彩子(会議録作成)

## (4) 教育委員長の依頼により出席した者

高知南中学校・高等学校校関係者 保護者代表(4名)

進取会代表(1名)

【冒頭】

委員長 教育委員協議会を開催する。

教育長 (あいさつ)

高知南中学校・高等学校の関係者の皆様、大変ご多用中のところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本年度、第13回目の協議会ということで、高知南中学校・高等学校の関係者の皆様とは5回目の協議会となります。前回、8月29日に開催いたしました協議会では、新たな中高一貫校に向けての統合の在り方ですとか、それに関連して校名等の取扱いについて、また統合後の中高一貫教育校の姿とそれに向けた両校の教育を充実する取組などについてご説明をさせていただき、協議をさせていただいたところでございます。そうした中で、皆様からは両校の教育環境の充実でありますとか、統合後の中校一貫教育校で実施するグローバル教育の取組については評価をいただくご意見がある一方、まだ、議論が十分尽くせていないというお話もいただいて、本日の会になったというところでございます。

本日は、まず、前回主な論点となったことについて県教育委員会の考え方をお話しさせていただいたうえでご意見をお聞かせいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【協議 県立高等学校再編振興計画について（高等学校課）】

○高等学校課企画監 説明

○高知南中高関係者 保護者・進取会代表との意見交換

保護者代表	先ほどの事務局からの説明では、別案の方がベストであり、提案した案3については難しいと言うことであった。保護者から配布した資料には、右上に別案を示し、線で囲んでいるが、下の学年がない、上の学年がないことは大きな問題であることを取り出して書いている。また、資料の左上に高知南中高校の教育を充実させる取組の時系列におけるプログラムを、下の方に高知西高校の教育プログラムを示している。これを見て、ちょうど平成33年と34年の間が境目であると考えている。その前の3年間31年から33年については、事務局が言う「問題が非常に多い」ということについて、真ん中に書いているように心のケアのプログラムを組むなど、具体的にフォローしたらどうだろうか。それから27年から29年の3年間の当事者の前の世代になる入学生については、入学に当たってのフォロープログラムをしていけば、こちらから示している別案3のように、高知南中高校で一緒になって新しい学校に移ることもできるのではないかと考えている。真ん中の下の図、網かけのところは、30年の列の一番下にあるようにグローバルコースを目指す60名、国際バカロレアコースを目指す60名の生徒が35年には高校3年生になることを示している。こ
-------	--

	<p>のような段階で行けば、教育プログラム、教育カリキュラムが大きく分かれるが、点線から上に書いてある120名は基本的に高知南中学校の子だけであるので、基本的にはここだけで習熟ができる。それから太字右下にある(バ)80名は、35年の中学2年生、中学3年生であり、国際バカロレアコースを目指す子どもたちになる。それから32年、33年は、右側にあるABCのBの時期に合わせたプログラムとそれを発展させた国際バカロレアに向けた教育の授業を共に行えるのではないかと、こういったことをフォロープログラムとともに行えばどうだろうかという提案し、検討をお願いすると言っている。右の点線で囲んでいるところの120名か240名であるが、前回の会議から考えても60名が気になる。別案で仮に考えると、募集停止を行い120名、240名が移っていくのであれば、高知西高校で行うグローバル教育、国際バカロレアの体系を、中学校は中学校での人数体制を取ってもらって、同じ様な形でいけば一つの考え方になる。これは非常に難しいということで、先輩がいない、後輩がいない時期があることもあり、最終的には全体で移って統合できないかというのが我々の案である。どうしても別案でということならば、120名でいってもらえればありがたい。120名がどうしても難しいなら、35年以降に新しい中学校が募集定員80名から120名となるのが難しいのなら、人数の問題についても検討してもらいたい。事務局も検討すべき点は検討し、考えていかなければならないと言っていたので、十分に考えてもらいたい。子どもたちのためと思うので、このような思いを汲み取っていただきたい。</p>
保護者代表	<p>先ほど、会長の話からの流れになるが、合併の方法を考えた時に、前回の会議で、委員長からオリエンテーションを1週間行ったとの発言があったように、やれない理由を羅列するより、やれる方法を我々より、教育のプロである教育委員会の方が考えていただければ子どものためになると思う。この会に出席し続けて、こちらから意見や方法論を出してきたが、常に「できない」理由を説明するばかりで、できる方法を考えていただけない状況が続いていたと思う。そのあたりを考えていただければと思う。これはお願いである。</p>
事務局	<p>質問であるが、資料1の統合後の推移であるが、10年後の推計が出ているが、15年後、20年後はどうなるのか。同じ比率で生徒数が減っていくのか。15年後には6学級維持できない状況になるのか。</p>
事務局	<p>15年後、20年後についてはそこまで明確に推計していない。その時の状況で判断していかなければならない。今回は10年間の再編振興計画ということで、はっきり示せるのは10年後までであるのでご了解いただきたい。</p>
保護者代表	<p>それでは、10年後については、次の再編計画が出てくるが、それまでは、計画は出てこないのか。</p>
事務局	<p>10年後に計画をつくり始めると空白ができるので、手前からつくるであろう。その時に検討するであろう。</p>
保護者代表 教育長	<p>向こう10年間は新たな統合はないのか。 具体的な計画として、今回は前期計画である。10年間であるので、今後、後</p>

	<p>期計画の策定をしていく。大きな方向性については、津波の問題についてもまだ残っている学校があるので、その学校をどのようにするかについては後期の実施計画で検討していく。</p>
<p>保護者代表</p>	<p>後期をつくるということであるが、10年計画であるから10年先しか見ないのではなく15年、20年先を推計してプランを立てる必要がある。今の高知南中高校状況をみた時に、中学校を併設する時に10年先、20年先を見ていけば、今の状況に陥っていなかったのではないかという思いもあるので、今後は、もっと長いビジョンでデータ的に考えて、今後の計画をたてていただければ、我々への説明ももっと分かり易いものになると思うので、お願いしたい。</p>
<p>保護者代表</p>	<p>2点ほど聞きたいことがある。13回の教育委員協議会を聞いてきたが、その中で一高知県民として思っていることは、高知南中高校と高知西高校の統合とすることで話をしており、基本的に地震対策と少子化対策が大きな柱である。例えば地震ということ言えば、高知南高校と高知西高校の校舎の建設は何年で、耐震度はどれくらいであるかなどの比較表が必要である。統合ということは、2つの校舎を比較してより良い方向に統合をもっていくことが基本な考え方であると思う。今回は、津波、津波ということ、3年前の東日本大震災がイメージとして残っているので、津波を第一に考えるのは分かるが、実際に建っている校舎の周りの状況や避難経路、地震が起こった時の液状化などの高知南中高校と高知西高校の比較表があって初めて「高知南」だ、「高知西」だ、という話になるのではないかと思う。例えば、高知大学の岡村教授など専門の方を入れて意見を聞き、どちらの方がベターであるかを判断する必要があると思う。その中には、高知南中高校と高知西高校の教室の数や、統合して新しい校舎になるのでグラウンドの広さはどうなるか、中高一貫教育をやっている高知南中高校の評価はどうであるかなど、対比表を作るべきである。県民の皆さんが疑問に思っているのは、高知南中高校と高知西高校の統合ありきで話が進んでいることであり、このような疑問が起こっているのではないかと常に思っている。</p> <p>もう一点、少子化対策についてである。資料1に10年後に県全体で1,000人程度、旧高知学区でも400人程度の減少になると示している。2年前に県全体の学区を撤廃した。この事により土佐市や南国市の生徒がどんどん高知市の学校に入っている。学区撤廃による分析や評価をこの中に入れて、統合を考えていかなければならないと思う。そのようないろいろな対策して、対比表を県民に示せば、それなりの評価が出てくると思う。せっかく13回の協議会を開催したが、そのようなことが一度もなかった。そのようなものをつくって広く高知県民に示し、どうしても高知西高校にしなければならないことを示していく必要があると思う。</p> <p>最後に、高知県の私立高校の特殊性を考える必要がある。今、高知新聞の特集にあるように高知市内の生徒が行く場所がなくなっている。卒業生の100%近くが高等学校への進学を希望しているが、80%位しか進学できていない現実を</p>

保護者代表	<p>踏まえ、高知南高校が廃校になれば1,000名近い子どもたちはどこに行くのだろう。これから先は生徒数が減ってくるので大丈夫かもしれないが、ぜひそのようなものも含めて評価をしていただければと思う。</p> <p>前回の協議会で、やっと委員長から良い話を聞いた。もっと早くこのような話を聞きたかった。この計画は進んでいくということで教育委員会の方の考えも良く分かる。新たな学校をつくることは素晴らしいことである。資料を見ると高知西高校の新しい取組として国際バカロレアなどができてきているが、学習面ばかりに力を入れ、部活動の面が心配である。部活動をやりたいと思う生徒が少なくなるのではないかと心配している生徒もいる。中学校で部活動をやっていて、国際科に進学することにより部活動をあきらめている生徒もいる。現に、中学3年生の中にはどうしようかと悩んでいる生徒もいる。新たな学校ではこのようなことがないようにしてもらいたい。英語も大切であり、学ぶことも大切であり、学校は学びの場であるが、高知南高校には他高校にない部活動もあるので、そのような部活動も引き継いで、難関大学にこれくらい進学する、進学率はこれ位ということだけでなく、音楽もスポーツもきちっとできる体制にしないといけない。私は、高知丸の内高校の音楽科を卒業しているが、当時の音楽科は部活動が一切できなかった。ピアノ、合唱、ピアノ、合唱で3年間やって大学に行った経歴であるが、それだけではいけなかったと自身の経験から思っている。新たな学校では、詰め込みの勉強ばかりでなく、部活動など高知南高校の良いところを引き継いでもらいたい。高知西高校も部活動をやっているが、高知南高校の良いところを引き継いでもらいたい。高知南中高校への思いがあるので、そのことについてもバランスを考えてもらい、検討してもらいたい。よろしく願います。</p>
保護者代表	<p>前回の協議会で、中学校の学力テストの結果が良かったとの話があった。中学校ができた13年でここまで持ってきてくれた先生に対してもっと敬意を払っていただきたい。今回は高校の統合が問題になっているので、別に切り離して考えてもらいたい。中学校で良い状態で育ってきた生徒が今の高校3年生である。来年度以降の高知南高校の動向も良く見てもらい。これから結果がでようとしたときにこのような話ができて心が痛い思いである。今の高校の状況や中学校の学力テストの状況をもっと考えて敬意を払ってもらいたい。パブリックコメントに向かうと言うことで、まだ実施計画ができる前のたたき台であるので、ぜひそのようなことを加味した計画をつくってもらいたい。実績が出ている学校、生徒が1,000人いる学校を統合するのに、高知西高校には良い話があり、高知南中高校側の話は無理です、できません、で進んでいる感じがする。高知南中高校の良いところを考えてもらいたいと強く思う。よろしく願います。</p>
保護者代表	<p>先ほど、地震対策の比較の話がでたが、高知南中高校の位置する潮江地区はそれぞれの小学校単位、中学校単位等での自主防災組織が活躍している。高知市</p>

進取会代表	<p>内の中で一番活躍していると言われている。そのようなところと連携し、勉強していかなければならない。今の学校について、明日にも地震が起こるかもしれないので、今すぐ別途に対策を取ってもらいたい。</p> <p>もう一つ、高知南中学校の学力は県外の上位県よりも上回っていると聞きうれしく思っている。高知南高校に通いたい生徒が、高知南中学校に通っている。公立学校としての進学の意味、グローバル教育・国際バカロレアも一つの形であるが、高知県は全国的にも収入が低く、共稼ぎ世帯が多く、全国からみると非常に貧乏な県である。平等に教育を受けたい、高校までは進学させてあげたいという親の気持ち、小さな子どもをもった親の気持ち、このような気持ちを考え、受け皿となる学校があること、子どもたちに選択肢があることを保護者としては強く望む。選択肢があることが子どもたちにとっては良いことである。学力が上がってきていることは、今までの12年間の努力である。そこまで時間がかかる。上級生がいない中で成果を上げることは非常に難しいことである。私立学校のように優秀な生徒を集める方法もあるが、公立学校が担う教育の意義を十分検討してもらいたい。</p> <p>新しくできる学校にとっても期待している。特に中学校、そして国際バカロレア、グローバル教育に期待しているので、これからも十分に議論して本当に統合して良かったという学校にしてもらいたい。</p> <p>今回の統合は致し方ないということで、統合を受け入れる気持ちでいるが、ぜひお願いしたいのは、高知西高校とまったくの対等の統合である。高知南高校は学校がなくなり、高知西高校に吸収合併されるようなイメージがある。生徒、卒業生、保護者、卒業生の保護者は残念に思う気持ちが非常に強い。対等ということ強く打ち出して欲しい。高知西高校の卒業生、保護者の方にも対等ということ胸に深く刻んで欲しい。これはお願いであり、絶対にして欲しいことである。それと、統合後の高校についての校名についても対等をお願いしたい。新しい学校であるので、全く新しい学校名で出発して欲しい。この事をお願いしたい。</p> <p>それと、統合前の中学と高校のことであるが、別案と案3を丁寧に説明してもらいなるほどと思う点もあるが、こうしようと思ったが無理とか、こうこうするには無理とか、問題が多いでしょうとかの説明であった。先ほど、保護者代表の発言にあったように、子どものことだけを考えると案3でやって欲しいと思う。それに対して教員の人員配置をどのようにするとか、多額のお金が掛るのかとか、単純に人件費が掛るかもしれないが、別案でいけば、高知西高校に受け入れ教室をつくらなければならない。その経費を考えると今の高知南中高校の教室を使用して、平成35年度に中学校と高校が一度移れば、別の意味の経費は大きく抑えられると思う。教育センターの機能を一部移すとの話があったが、高知西中学校の入学生も一時的に先輩がいない時期があり、精神的に不安になる生徒もいると思うので案3の方で手厚い精神的なフォローをすればいい。高校の先生が中学校へ授業に行くから高知西高校に中学校があった方が</p>
-------	---

<p>保護者代表</p>	<p>良いとの話であったが、逆に高知南中高校の方に能力のある先生を増やすことがなぜ無理なのかと疑問に思う。また、週1、2回ならば高知西高校の先生が高知南中学校の授業にも行ける。移動時間がかかるが、高知市内なので可能であると思う。出来ないではなく、やってみようと、やるには何をクリアしていかなければならないか検討して欲しい。この後の検討の材料にして欲しい。ぜひ、対等で良い統合ができるように願っている。</p> <p>今後の高知南中高校の在り方について、現在の保護者は心配している。資料には今後のことが下の方に書かれており、また、事務局も考えているとの発言があったが、今、現に通学している生徒は不安に思っている。今後この学校でやっていって良いのか、勉強も部活も大丈夫なのか考えて不安になっている生徒もいる。先生がカウンセラーの方に相談しに行っていた事実もある。今すぐ統合ではなく、何年も先の話である。やっぱり子どもがお世話になっている学校であるので、今抱えている生徒の精神的なことも大切であるが、もっときちっとした形のあるものを保護者に示してもらい、協議をしてもらいたい。資料の下の方に、この様にやりますよ、予算も取っていますよ、と言っているが、その明確さが伝わってきていない。今の生徒の保護者は、先の事ばかり言って、今がどうなるのか不安になっている。一人二人の保護者ではない。そこの当たりの話し合いを早い段階でし、こうこうやりますよというものをつくってもらいたい。そこのあたりの協議を早急にってもらいたい。よろしく願います。</p>
<p>保護者代表</p>	<p>私を含めて出席している高知南中高校関係者5名からいろいろな意見が出たと思う。今日、傍聴には高知南中高校の関係者が多く来ている。高知南中高校関係者としては、諸手を上げて統合を認めている訳ではない。あくまで話を聞いたうえで、どのような統合案が出てくるのであろうと聞くスタンスはある。心の中では皆、高知南中高校は存続して欲しいと思っている。生徒数減であっても、何とか調整してうまくやってもらい、高知南中高校を存続して欲しいというのが皆の心の中の思いである。それがゆえに今回まで、いろいろな意見が出てきたし、こんな案はどうだろうと、統合するならばどのような統合案がベストであろうと考えてきているので、この思いは十分理解してもらいたい。今後、パブリックコメントに進んで、いろいろな方の意見を聞き、本当に慎重にこの案がどうであるかを決めていくことになると思うが、子どもたちのことを優先的に考え、高知県として中学生が不憫な状態にならないように、きちんと高校に進学できる選択肢を残してもらいたい。学力テストの成績も上がり、高知南中学校の子どもたちは、すでに38名が英検3級をとって、2級を目指している子もいる。この事を思うと、統合するのであれば、どのような統合がベストなのか、広く県民に対して聞いていただき進めてもらいたい。委員の皆さんも教育委員会の中で検討して、我々の思いを十分組み込んでいただきたい。もう一つ、高知南高校の良さを言いたい。高知南中高校にエレベータがある。エレベータがあることで、上の階、下の階どこにでも行ける。体育館でもどこにでも行ける。今、現在公立高校にエレベータがあるのは、高知小津高校、高</p>

<p>教育長</p>	<p>知南高校、高知商業高校、それと高岡高校である。私は、いろいろな障害児を見てきて、活動もしている。いろいろな障害児、子どもたちがいる。高知南中高校はバリアフリーである。他の学校と比べると長けているが、まだ不十分なところもある。例えば、車椅子の生徒が体操服に着替えるときは、どのようにして着替えるのか。床か。我々は、立って着替えることができるが、彼らはできない。ベッドが必要であったりする。中途障害者も多い。先天的障害者も多い。その子たちの選択肢ができる場所が一番の望みである。確かにグローバル教育の話も良いかもしれない。しかし、平等に教育を受ける権利。全ての人が、望む人がいれば平等に教育を受ける権利を私は望んでいる。そのような点からも高知南高校の素晴らしさは十分理解していただきたい。この前の会では、新しい学校にはエレベータを単純につけると言ったが、体育館も音楽室も家庭科室も調理室も全ての教室にアクセスできないといけない。とにかく、全ての場所に、校内に入れば校舎内は全て、どんな人にでも使うことができる、行くことができるという場所をつくらなければ教育ではない。まず、そこから取り組み、学力については少しずつ取り組めば良いと私は思う。やはり選択肢が無いことはいじめにもつながる。今、高知南中高校がバリアフリーになっているので、そのような子が行きたい時に行ける学校をつくってもらいたい。後輩たちが目指す学校にしてもらいたい。脳性麻痺の子どもであっても今は、タブレットを使って授業ができる。その子たちの選択肢が高知南中高校にはある。授業ができる。全てができる。それが無いような学校はつくらないで欲しい。我々は知識も持っている。保護者も持っている。学校も持っている。関係者もノウハウを持っている。今後、県民から色々な意見を聞き、色々なことを話した後も、このまま終わるのではなく、パブリックコメントが過ぎても、もし計画が進むのであれば我々も入って、ぜひとも意見を言いたい。逆に言えば、なぜエレベータ以外のものをつくってくれなかったのかと言いたいが話が別の方向になるので言わない。これから先、中学校、高校に入ってきたいという子がいると思う。それについては、よろしく願います。それを含めたくて、全く新しい中高一貫教育校という形で考えてもらいたい。高知西高校でもなく、高知南中高校でもなく、新しい中高一貫教育校をつくってもらいたい。いろいろな思いがある。ここにいる方々の思いもある。今後も十分受け止めて、我々の意見、少しばかりの知恵を皆様に言えるような場をぜひともつくってもらいたい。高知南中高校が良いという思い、高知南中高校がなぜという思いが未だにあるということを理解して欲しい。「思い」ということは十分考えてもらいたい。</p> <p>皆さんの高知南中高校に対する愛情と強い思いをもたれて5回にわたり会に出席されており、その思いを十分受け止めている。</p> <p>個別に言われたことについてであるが、統合についての説明をもっと丁寧にとのことであったが、それについては心掛けていく。</p> <p>次に、今年、中学校の学力テストの向上について、そういった努力を尊重すべ</p>
------------	--



<p>委員長</p>	<p>きではないかとの発言があったが、そのような形で頑張ってきてくれたことの延長として、これから更に教育環境を充実させていき、これから素晴らしい学校にして最終的に統合していきたいと考えている。</p> <p>地震対策について、あの地域において高知南中高校は貴重な津波避難場所に指定されている。規模が大きな施設であるので、高知市と協議しながら有効に活用できるようにしていきたい。今すぐできることとして想定していることは、長期浸水になった場合に避難場所としては機能するが、長期間泊ることになると生徒たちにとっても厳しい生活になるので必要性の高いものから、別の場所に移動できるボートを追加的に整備することについて考えたい。</p> <p>統合については、高知西高校と高知南中高校が対等との話があった。あくまでも新たな中高一貫教育校をつくるということで高知南中高校と高知西高校が統合していく考え方で進めていくのでご理解いただきたい。</p> <p>現在、通っている生徒について、不安に思っていることについて対応を明確に早く示すべきではないかとの意見もいただいた。今回の再編振興計画が固まったらできるだけ早く、示している教育の振興策を含めた説明をできる機会を設けていきたいと思う。</p> <p>バリアフリー環境は、今、インクルーシブ教育が言われており、そのような方向に行くべきだとの話があるので、方向性としては、今いただいた意見のことを考えていかなければならない。具体的には、今の高知西高校の校舎がベースになるので、どこまでできるかについて知恵を絞らなければならないが、話の趣旨は我々としても尊重して対応していくべきであろうと思う。</p> <p>統合の仕方について、意見をいろいろいただいた。これまで話をさせていただいた考え方がベースになるが、反映できることは考えさせていただく。</p> <p>ずっと司会をさせていただいた。高知南高校の関係者の皆さんがこれほど熱心に考えていることに対して、言い方は悪いが感心したところである。高知県の教育のためにいろいろな思いをもってくださっていることが非常によくわかった。発言を聞かせていただき、主張されていることは私の考え方とあまり変わらないが、よりベターな方法を考えさせていただいているということである。これから統合するにあたって、皆さんの意見を活かせる部分があると思う。それと私は生徒の急増期から減少期まで長く教育に関わっている。学校の閉校に際し、室戸水産高校から始まり、大栃高校、仁淀高校、この3月の宿毛高校大月分校の閉校式に参加させていただいた。その中で感じたのは、閉校することは関係者にとって非常に厳しいことであるが、生徒達がこの学校で学んで良かったと言う思いで閉校式に臨んでいたことに気持ちの上で救われたことである。</p> <p>今度の統合についても生徒たちに寂しい思いをさせてはいけないという思いは強いが、ぜひとも、子供たちにこの学校で学んで良かったとか、学校への愛着心を持ってもらって閉じていきたいと思っている。そのような強い思いがあり、我々教育委員としても辛い思いをしているが、皆さま方にも辛い思いをさ</p>
------------	--

	<p>せている中で、大変貴重な意見もいただいている。意見を聞く中で本当に我々にとって、これが抜けていた、これが欠けていたということに気づかされた。そこでもう一度勉強させてもらった。これから新しい学校に向けての取組がいろいろとあるので、いろいろな場面で意見を伺うことがある。今まで出席して意見を言ってもらった思いを続けてもらい、貴重な意見を言ってもらえば非常に有り難い。ありがとうございました。</p>
保護者代表	<p>最後になるが、委員長、教育長からもあったが、我々としての再編計画についての思いを伝えさせてもらった。この思いがあることを検討していただいて、パブリックコメントで広く県民の方々からの意見をいただき、十分検討していただき、その結果を我々の方にも説明してもらい、一緒になった形で協議をしていけたらと思う。もう一度考えていただいて、広く県民から意見を聞いてもらいたい。</p> <p>地震対策については早めにしてもらいたい。日中は学校が責任をもって生徒を助けるという考えを我々も先生方も持っている。高知南中高校はいろいろなところから生徒が来ている。登下校中の安全についても、早急な対策を取っていただきたい。後ろにいる傍聴している高知南中高校の関係者も思いをもっている。広く県民から意見を聞いてもらい、まとめてもらい私たちにもフィードバックしてもらいたい。</p>
委員長	<p>本当に何日も時間もかけて、熱心に議論していただきありがとうございました。また、傍聴の方も熱心に聞いていただいた。そのような思いを我々は受け止めながら、新しい、単に数合わせではなく、未来に向かって希望の持てる学校を目指していきたいのでご協力お願いしたい。また、報道関係者の皆さんご協力していただき有難うございました。今後もよろしくお願ひします。これをもちまして、高知南中高校関係者との話し合いを終わります。ありがとうございました。</p>